



もりの 北の 国有林

写真：春を待つ森林（七飯町）

今月のトピック

- ・平成 30 年度 治山・林道工事コンクール
- ・平成 30 年度 国有林間伐・再造林推進コンクール



2019
No. 39



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局

平成30年度 治山・林道工事コンクール表彰式

3月1日、北海道森林管理局において平成30年度治山・林道工事コンクール表彰式を行いました。



新島局長からの主催者挨拶

工事91件、林道工事56件の中から農林水産大臣賞1件、林野庁長官賞9件、北海道森林管理局長賞10件の工事について伝達及び表彰しました。

また、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞を受賞した担当者の中から、特に優秀な主任(監理)技術者へ北海道森林管理局長賞を授与しました。

受賞した各工事は、現地に応じた工種等の工夫、仕上りの良さなど品質確保、自然環境への配慮などに努めたことが高評価に繋がりました。

なお、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞表彰式は2月20日、林野庁において行われました。

治山・林道工事コンクールは、前年度に発注した工事を対象として構造物の仕上がり状況、施工管理、安全管理、自然環境への配慮等を総合的に評価し、優れた工事を表彰するもので、施工技術の向上について関係者の意欲高揚を図るため毎年開催しています。

今年度については治山(治山課・森林整備第二課)



河野森林整備部長からの審査委員長審査報告



高堂建設株式会社代表取締役 高堂様からの受賞者挨拶

受賞工事

【農林水産大臣賞】

部門	署名	工事名	会社名
林道	十勝東部森林管理署	ただし直志ノ沢林道(林業専用道)3新設工事	株式会社河向組

【林野庁長官賞】

部門	署名	工事名	会社名
林道	空知森林管理署	咲別林道改良工事	及川産業株式会社
林道	上川南部森林管理署	金の沢林道災害復旧工事	国昭建設株式会社
林道	西紋別支署	うえこたん上丹舟3号沢支線林道(林業専用道)新設工事	大原建設株式会社
林道	渡島森林管理署	種川下ハカイ線林道外改良工事	株式会社伊関組
治山	日高北部森林管理署	オタリマップニの沢災害関連緊急工事	丸彦渡辺建設株式会社
治山	上川南部森林管理署	くしない串内地区本流(上流)災害関連緊急事業	新谷建設株式会社
治山	西紋別支署	紋別海岸施設災害復旧工事その2	株式会社菊地組
治山	十勝東部森林管理署	205林班災害関連緊急工事	徳井建設工業株式会社
治山	渡島森林管理署	駒ヶ岳(尻無Bの沢)地域防災対策総合治山事業	株式会社高橋組

【北海道森林管理局長賞】

部門	署名	工事名	会社名
林道	日高北部森林管理署	アベツ林道パンケセタナイ線外災害復旧工事	株式会社五十嵐工業
林道	上川中部森林管理署	ろうねないやま老根内山林道(林業専用道)新設工事	株式会社騎西組
林道	網走中部森林管理署	ちゅうふく忠福林道(忠福)2災害復旧工事	鐘ヶ江建設株式会社
林道	十勝西部森林管理署	ボン3の沢林道(林業専用道)新設工事	株式会社ホリタ
林道	檜山森林管理署	トカリリリ線林道尾刺支線(林業専用道)新設工事	株式会社杉沢組
治山	日高南部森林管理署	おひのし帯牛沢災害関連緊急事業	株式会社中島組
治山	宗谷森林管理署	ふかやい深内沢災害関連緊急工事	株式会社飯島組
治山	網走南部森林管理署	みねはま峰浜地区治山工事	野村興業株式会社
治山	十勝西部森林管理署	カジャの沢(1144林班)治山工事	高堂建設株式会社
治山	檜山森林管理署	奥尻島(本町地区)治山工事	渡辺建設株式会社

高い技術力により、安全にかつ優良な工事を施工されていることに対し、心から敬意を表します

主な受賞工事

北海道森林管理局長賞

治山工事

【工事名】

帯牛沢災害関連緊急事業

【テーマ】環境配慮

【工事概要】

工事箇所の上流には、倒木を含む不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨により崩壊地の拡大及び下流へ不安定土砂が流出する恐れがあることから、下流域への被害を防ぐため施工した工事です。



コンクリート谷止工

間伐材を利用した残存型枠を使用し、木材利用

の推進を図るとともに、

万一の燃料漏れに備えた防油キットの配備、生コ

ン車の清掃場所の設置と

いった自然環境への配慮もしており、出来形、品質ともに良好に施工されてきたことなどが高い評価を受けました。

林道工事

【工事名】

トンガリチリチリ線林道

尾刺支線（林業専用道）

新設工事

【テーマ】技術提案

【工事概要】

バックモニター付バックホウを用いて後方視界



人工林にアクセスしやすい林業専用道

を確保することで誘導員の負担を軽減しました。

更に、施工箇所が道道から分岐した町道を経由しているとともに、見通しの悪い箇所が多いことから、道路脇の除草及び工事用標識の設置により、安全確保及び注意喚起を行うことで地域貢献に繋がったことなどが高い評価を受けました。



受賞者のみなさん

主任（監理）技術者

農林水産大臣賞及び林野庁長官賞受賞工事10件

のうち、治山の部で2名、林道の部で2名において、工程管理・品質管理などの各段階で高い技術力と管理能力が発揮されたも

のと認め授与しました。今後も技術の研鑽に努められ、品質の高い施工に努めていただくようお願いいたします。

【北海道森林管理局長賞 主任（監理）技術者表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
林道	十勝東部森林管理署	ただしノ沢林道(林業専用道)3新設工事	株式会社河向組 金井 猛
林道	空知森林管理署	咲別林道改良工事	及川産業株式会社 浅田 雅義
治山	上川南部森林管理署	串内地区本流(上流)災害関連緊急事業	新谷建設株式会社 本庄 弘明
治山	渡島森林管理署	駒ヶ岳(尻無Bの沢)地域防災対策総合治山事業	株式会社高橋組 井理 和之

【北海道森林管理局長賞 監督職員表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
林道	空知森林管理署	咲別林道改良工事	農林水産技官 青砥 一貴
林道	上川南部森林管理署	金の沢林道災害復旧工事	農林水産技官 小池 和春
林道	西紋別支署	上古丹3号沢支線林道(林業専用道)新設工事	農林水産技官 平鍋 智史
林道	十勝東部森林管理署	ただしノ沢林道(林業専用道)3新設工事	農林水産技官 朝長 正雄
林道	渡島森林管理署	種川下ハカイ線林道外改良工事	農林水産技官 馬渡 郁弥
治山	日高北部森林管理署	オタリマップニの災害関連緊急工事	農林水産技官 井田 智弘
治山	上川南部森林管理署	串内地区本流(上流)災害関連緊急事業	農林水産技官 大井 諭史
治山	西紋別支署	紋別海岸施設災害復旧工事その2	農林水産技官 君野 雄規
治山	十勝東部森林管理署	205林班災害関連緊急工事	農林水産技官 鶴見 仁
治山	渡島森林管理署	駒ヶ岳(尻無Bの沢)地域防災対策総合治山事業	農林水産技官 窪田 泰尚

国有林間伐・再造林推進コンクール 大澤木材株式会社が優秀賞を受賞

2月27日、北海道森林管理局大会議室において、平成30年度国有林間伐推進コンクールで林野庁長官賞（優秀賞）に選ばれた「大澤木材株式会社」への長官表彰の伝達が行われました。



大澤木材株式会社(左)と森林管理局長

同コンクールは、国有林野事業における間伐等の発注事業や立木販売において、優れた品質の森林整備を行うとともに、高い生産性、作業システムの特徴や成果等の取組を競い、優秀な事例を公表することにより、高効率かつ低コストな間伐等

について民有林を含めた普及、定着及び推進に資することを目的としています。
なお、今年度のコンクールでは、林野庁での審査の結果、全国で最優秀賞1事例、優秀賞3事例が選ばれています。

優秀賞を受賞した「大澤木材株式会社」の事例

これまで、7台の高性能林業機械、7名のオペレーターの編成で行われ



フォワーダ（手前）とハーベスタ（奥）による作業

ていた伐採搬出作業を2種類のハーベスタ、ローダー付きフォワーダの2台と2名のオペレーター

によるコンパクトなCTLシステム（※）で高い生産性を可能としました。実施に際し、フォワーダは列状間伐時の伐採列を走行路として活用、搭載されたローダーで自ら積み込み積卸しし積積を実施、ハーベスタは材の2度掴みを回避するなど作業の無駄を排除し伐倒し木寄せし造材を実施、グラップルの待機時間、燃料経費などコスト縮減に成功し、1人当たり13.

〇従来方式と現行方式の作業システムの違い

従来方式（7人1セット 5.8 (m³/人日) の生産性）



現行方式（2人1セット 13.2 (m³/人日) の生産性）



2立方メートルの生産性を可能にしたものです。また、取組にあたり、環境保全のための簡易な汚泥防止柵工の設置、人材育成のために積極的に若手が高性能林業機械へ乗る機会を増やす、安全

分収造林感謝状の贈呈

2月27日「平成30年度分収造林契約感謝状」の贈呈式を北海道森林管理局大会議室で開催しました。

分収造林制度は、会社や団体等の契約者が契約に基づき、国有林野に木を植え、一定期間育て、成林後、分収木を販売し、その収益を契約者と国とで、契約に定めた割合で分収する制度です。
平成30年度に分収造林契約をご締結いただいた

対策のために小班毎にリスクアセスメントを実施するなど、熱心な取り組みも評価されました。
なお、最優秀賞を含む表彰全体の概要は林野庁HPで紹介しています。
(資源活用第二課)



右から江本木材産業(株) 江本博幸様、大澤木材(株) 大澤友厚様、森林管理局長、(株)幸稜 金野眞幸様、佐藤木材工業(株) 佐藤教誘様

(森林整備第一課)

江本木材産業(株)、大澤木材(株)、(株)幸稜、佐藤木材工業(株)に対し、国民参加の森林づくりとして、国有林の森林整備の推進にご賛同いただいたことに対し、北海道森林管理局より感謝状を贈呈しました。

※CTL システム：CTLとはCut To Length の略で伐採木を一定の長さの丸太に切って集材すること。一般にハーベスタで切った丸太をフォワーダで集材する林業機械の作業仕組。

地域課題の解決に向けた取組

日高地域における林業の活性化に向けた取り組みについて

日高北部森林管理署

1 背景と目的

日高北部森林管理署は日高山脈の麓に位置しており、急峻な地形が多く、農地と林地が隣接している箇所が多くあります。そのため、民有林では路網の整備がしづらく、従来から切り捨て間伐が主体となっていたため、搬出間伐が行われてきませんでした。

一方、国有林では列状間伐を主体に搬出間伐を積極的に行ってきたため、豊富な実績があります。



列状間伐実施箇所

更に、ドローンを活用して現況把握等にかかる労力の軽減を図ることができると考えました。

そこで、民有林で搬出間伐を推進してきた日高振興局森林室平取事務所、沙流

川森林組合及び当署の三者連携により、それぞれの役割を分担して、特に、搬出間伐（列状）実績の少ない日高町日高地区を対象に取り組みを実施していくこととしました。

2 これまでの取組

伐採予定の民有林人工林において、林分調査を行い「森林の健康診断書」と併せて、ドローンを活用した現況調査を実施し、3D画像を作成して所有者へ施業提案を三者で実施しました。

また、国有林で列状間伐を実施した人工林及び実行中の箇所において間伐勉強会を開催することにより、森林所有者が抱いていた列状間伐実施への不安を少しでも払拭するよう取り組みました。

今年は、所有者への戸別訪問を行い、地域の林業が抱えている課題や背景及び目的について理解を得るとともに、国有林野事業実施箇所での見学会を実施しました。また、更なる搬出間伐の推進を目的に、日高振興局森林室平取事務所職員

を講師に民有林勉強会を開催し、課題解決に向けたサポーターチームの充実・強化も図られました。

3 活動の成果

民有林所有者を対象とした勉強会や施業提案の取り組みを通じて、搬出間伐（搬出）への理解を得ることができ、平成30年11月に平取町内で間伐実行することができました。

また、周辺の民有林所有者へ森林室平取事務所が戸別訪問を実施した結果所有者ら5名の賛同を得ることができ、合計約42ヘクタールを集約して施業を進めることとなりました。このように、搬出間伐を実施することにより、間伐材の販売収入を得ることで収支が改善



丸太の仕訳作業

し、利益を還元できるようにあります。

更に、間伐材を山に捨てるのではなく資材として地域に提供することで、林地未利用材の発生を抑えるとともに、地元製材工場への木材の安定供給につながりました。

4 今後の展開

今後も継続して、民有林所有者の気持ちを切らさずに搬出間伐を実施するため、毎年の実行結果等の内容を分析し、戸別訪問等により周知していきます。

また、単年度の取り組みとならないよう、森林管理



戸別訪問で森林の状況を説明

署・森林室平取事務所・森林組合との協力体制を継続するとともに、連携をより一層強めていきます。

こんにちはは森林官です!



西紋別支署
上渚滑森林事務所
森林官 浅野 誠一郎



所在と管轄

上渚滑森林事務所は、北海道の北東部、オホーツク海沿岸のほぼ中央に位置する紋別市にあり、紋別森林事務所との合同事務所です。

私が勤務する上渚滑森林事務所は、紋別市から20キロメートルほど内陸に入ったところにある紋別市上渚滑町周辺の国有林約9千ヘクタールを管轄しています。

紋別市は夏は比較的涼しい日が多く過ごしやすいですが、冬は厳しい寒さの日が続きます。



紋別名物
「巨大なカニの爪オブリュエ」

寒さが一段と厳しくなる2月には、冬のオホーツク海を象徴する「流水」がやってきました。森林事務所は少し高い場所にあるので、窓から

はオホーツク海を見ることができ、冬の朝は、海を見ることが日課になっています。希に、流水と共に渡ってきた「オオワシ」が市街地上空を飛び姿を見ることが出来ます。

森林官の仕事

森林官の業務は、多岐に渡ります。国有林や林道のパトロール、民有地との境界の点検管理、森林を整備するための事業の監督、森林の状態を知るための調査などがあります。今回は、森林の状態を知るための調査Ⅱ地況林況調査を紹介いたします。



地況林況の調査

これは、単純に木の太さや本数などを調べるだけで無く、枝の枯れ具合、地表に生えて

いる植生の種類や繁茂状況、過去の施業の履歴などを確認し、これからこの山にどんな手入れが必要か判断するための指標となる重要な調査です。時には、道なき道を長時間歩かなければならない日もあったり、冬には、雪にまみれながらスキーで移動する日もあります。大変なことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。

新たな技術

山の仕事と聞くと、アナログなイメージを持たれる方が多いかもしれませんが、新しい技術が徐々に取り入れられています。

その1つにUAV（無人飛



配備されているUAV

行機ドローン)があります。国有林では、自然災害などによる被災の迅速な状況把握や各種調査のため、各署に配備されており、有効に利用するため、私も鋭意練習中です。

おわりに

地域の森林を守るためには、住民の方々の理解と協力が必要不可欠です。先輩たちに教わった山の知識と新たな技術を活用しながら、自らの足で歩き、その山にあった施業を考え実行することで、豊かな水を育み、山地災害を防ぎ、多くの動植物が暮らす、様々な魅力を持った森林づくりが出来るよう、これからも尽力していきます。



UAVを用いて撮影した管内の森林



センター通信

森林技術・支援センター

森林技術・支援センターは、北海道全域を活動フィールドとして、地域で求められる林業技術の開発・普及に取り組んでいます。

今回は、各種発表会等における当センターの技術開発成果の普及・PR活動について紹介いたします。

なお、今年度の当センターの発表内容はいずれも、人工林伐採後のカラマツの天然更新に着目したものです(文末参照)。

技術開発成果発表会

(10月30日)

道内の研究機関(森林総合研究所北海道支所・同北海道育種場・北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場・同林産試験場)と連携して、平成26年度から当センターが主体となって継続開催しています。

この発表会は、それぞれの機関の研究成果を森林・林業に係る多くの方々に広く知っていただ

くことを目的としています。

今年度も、当センターの発表以外では、衛星画像を用いた森林被害の把握、野生生物観測、新しいエゾマツの育苗技術、コンテナ専用小型運搬機の開発など、幅広い分野での情報を参加者にお伝えすることができました。当日、造林・木材生産関係の林業事業体、あるいは指導林家、行政機関等多様な皆様の参加をいただきました。



技術開発成果発表会での発表

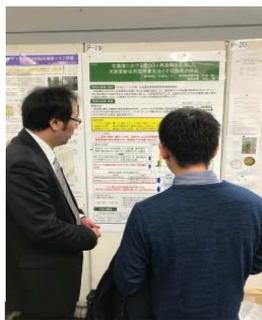
また、終了後に記入いただいたアンケートを通じて貴重なご意見をいただきましたので、今後の参考にさせていただきます。と考えています。

北方森林学会

(11月15日)

道内の森林・林業の研究機関、大学関係者等が日頃の研究成果を発表する大会です(主催は北方森林学会)。

当センターはポスター発表で参加しました。持ち時間は、一時間ほどの短い間でしたが、たくさんの方々と意見・情報交換を行い、有意義な時間を共有することができました。



北方森林学会での情報発信

国有林野事業業務

研究発表会(11月29日)

毎年、林野庁において開催され、各森林管理局から森林の効率的な整備手法、森林環境教育の推進、森林生態系の保全管理の取り組み等についての発表があります。森林

技術・森林ふれあい・森林保全の3部門に分けられており、当センターは森林技術部門で発表を行いました。

今年度、当センターは、「日本林政ジャーナリストの会会長賞」を頂くことができ、今後の励みとなりました。

現在、北海道森林管理局全体で、多様な森林づくりに取り組んでいます。が、それらの実現に向けては、いろいろな視点から森林を見ることが重要です。従って、このような各種発表会等における情報発信・意見交換は、非常に意味があるものだと感じています。

今後も引き続き、積極的に参加していきたいと思っています。



天然更新したカラマツの稚樹

「各地からの便り」～冬も森もり学習中！！～

平成 30 年度森づくり活動発表会【石狩地域森林ふれあい推進センター】



「平成 30 年度森づくり活動発表会」を、2 月 26 日（火）に定山溪中学校において開催しました。

今回の主な発表は次のとおりです。

- 昨年 4 月に憲政記念館（東京都千代田区）で開催されたみどりの式典において「平成 30 年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した定山溪中学校の森づくり活動
- 昨年 4 月に「第 30 回森林レクリエーション地域『美しの森づくり活動コンクール』」において、林野庁長官賞を受賞した野幌森クラブが、石狩森林管理署との協定に基づき野幌森林公園で実施している森づくり活動
- 札幌南陵高等学校科学部と石狩森林管理署がコラボして行った無意根山山麓の大蛇ヶ原で 2 年間、観察・調査等をしている生物多様性保全の活動
- 石狩地域森林ふれあい推進センターの森づくり活動
その他、中学生による定山溪太鼓の披露やパネルディスカッションでは活発な意見交換が行われ、見所が満載でした。

朱鞠内小学校で森林環境教育 【北空知支署】



2 月 20 日（水）、朱鞠内小学校「わんぱくの森」で今年度 4 回目の森林環境教育を実施しました。

わんぱくの森から少し離れ、昔の道具を使って木を擦り合わせて火を起す体験を行いました。最初は苦戦しましたが、古代に使われた「舞いきり式」という道具で見事に火をおこすことができました。

遠別小学校 3・4 年生の森林教室 【留萌北部森林管理署】



2 月 19 日（火）、遠別小学校の 3 年生、翌 20 日（水）は 4 年生を対象に遠別町富士見ヶ丘公園で森林教室を行いました。スノーシューを履いて公園内を散策しながら、木や動物の足跡を観察したり、輪尺を使って木を測ったりして、環境や自然のことを考える楽しいひとときを過ごしました。

小学校で「木の身体測定」 【西紋別支署】



2 月 12 日（火）、滝上みどりの森林（もり）推進協議会が滝上小学校の 6 年生と濁川小学校の 3～6 年生の児童を対象に、木を測ることをテーマに森林環境教育を行いました。

木の棒を使って、木の高さを測り、学校で習った算数をこのように実用できることに感心していました。

もり

広報 「北の森林 国有林」 3月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70番
I P 電話 050-3160-6300
電 話 011-622-5213
F A X 011-622-5194

お知らせ

「記念分収造林」の公募について

北海道森林管理局では、天皇陛下の御在位三十年及び皇太子殿下の御即位に伴う慶祝行事等の一環として、国民参加による森林づくりの促進を図るとともに、国有林野が所在する地域の振興に寄与することを目的として公募します。

※詳しくは、北海道森林管理局HPをご覧ください。